



参詣者を迎える役員（5月17日、順慶寺本堂にて 塚本年雄氏撮影）

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2022年(令和4年)

6月号

VOL.344

◆◆ 門徒の法要 ◆◆

5月17日、コロナ禍の前住職三回忌を厳修。ディスタンスをとったイス席、三張り設営した境内のテント、葬儀並みの受付、すべて護寿会主催で準備。そして、役員総出で参詣の皆さんを笑顔で迎え入れた。文字通り、前住職の三回忌は門徒の法要となった。

◇ 欲が憎しみや苦しみを生む ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より

「勝利は憎しみを生む、

負けた者は苦しみを味わう。

勝ち負けを捨てて

心静かな者は楽しみを味わう」(第二〇一偈)からの出典です。

今月の言葉は、インドのコーサラ国の国王

①パセナデイ王の敗北について釈尊が語られた一節です。

パセナデイ王は、甥でマガダ国のアジャセ

王と三度戦いましたが、三度とも打ち負けられてしまいました。三度目になって、「私はミ

ルク顔の若造を打ち負かすことができなかつた。生きていても何になるう」と考え、絶食

してベッドに臥してしまいました。

やがて、パセナデイ王が意気消沈して臥したというわさが国中に知れたることにな

り、比丘たちを通じて釈尊の耳にも入りまし

た。すると、釈尊は、「比丘たちよ、勝った者は憎しみを生みます。



今月の釈尊の言葉

勝者は憎まれ
敗者は苦しむ
欲をもてば楽はない

◆ダンマパダ(法句経)

第二〇一偈より

戦いに負けて意気消沈している国王に、勝敗をつけることの無意味さを教える。



若院のテーマカット NO.38



負けたものは、苦しみを味わいます」と弟子に語ったといひます。

ラグビーのように、勝ち負けは試合中だけのことで、試合が終わったらノーサイドになるのが理想です。しかし、名聞(名譽)を得たいという欲望)、利養(利益)に入れられて生活をよくしたいという欲望)、勝他(他の人に負けたくないという思い)がうずまく私たちの日常で、こうした欲の心がはたらき、良し悪しなどなかったことに白黒がつくと、次の瞬間には憎しみや苦しみがわくものだと釈尊は教えて下さっています。

◇慢心はおごりを生む◇

四十年前程前、テレビで「ザ・ガマン」という番組を放映していたのを覚えてます。東京六大学の学生が大学を代表して、ゲテモノ食い、灼熱地獄、水責めなどの試練を与えられ、最も忍耐強い者を決める内容でした。当時、ガマンは美德とされていた。風潮もあり、試練に悶絶する姿に視聴率も上がりました。

ところが、仏教では我慢という言葉葉を肯定的に捉えることはありません。「慢」とは、「マーナ」というサンスクリット語に由来し、他人と比較して思い上がることと言います。ですから、我慢は、自分のみをたよりにして、他人を侮るような心のあり方を示します。こうした「慢」によって、傲慢さ、虚栄心、優越感や

その反面の劣等感などが導き出されます。

新鋭の仏教者、草薙龍瞬氏は、

「人間が考える多くの判断は、実は真実でもないし、有益でもありません。いわば、ヒマつぶしです。もしあなたの周りに傲慢な人がいたら、その心理を理解してあげてください。判断ゆえの快楽と、承認されることへの欲求です。：：「自分が正しい」と判断してしまった時点で、その判断は「間違ったもの」になってしまふのです」（『反応しない練習』）

と指摘します。

ウクライナ戦争で、ロシアのプーチン大統領の主張する判断は、草薙氏の指摘のように、判断ゆえの快楽と承認されることへの欲求に見えるのは私だけではないはずだ。

②草薙龍瞬

昭和四十四年、奈良県生まれ。中学中退後、十六歳で家出。放浪のち、大検を経て東大法学部卒業。政策シンクタンクなどで働きながら「生き方」を探求し、インド仏教指導僧・佐々井秀領師のもとで得度出家。ミャンマー、タイに留学。現在、インドで仏教徒とともに社会改善NGOと幼稚園を運営するほか、仕事や人間関係、生き方全般にわたって伝える活動をしている。

①パセナ大王

古代インド、コーサラ国の王。前六、前五世紀ころの人。生没年不詳。漢訳仏典では波斯匿とする。都の舍衛城にあつて隣国カーシーも領有し、ガンジス川中流域の北岸に君臨した。妹がマガダ国のビンビサーラ王の妃であつたため、両国は友好関係にあつたが、ビンビサーラの死後、その子アジェセ王と長期にわたって争つた。仏教の保護者としても知られる。（『世界百科事典』）

人を欲ぶ人
妙好人の世界
[第117回]
《味おうてくれ》
ものだねきちべえ
物種 吉兵衛
(25)

《何故傍らにござらぬか》

堺の妙好人・吉兵衛。その聞きの強さと、おしの強さから、誤解を招くことも多くありました。

ある時、船尾村の元立寺に仙林という坊さんが説教に来て、説教の席で吉兵衛のことを散々に言われ、その後「居間へ来い」と吉兵衛を呼び出しました。説教の席に同席した同行は、みな吉兵衛のことを思い、同情して、一緒に座敷へ行くといいましたが、吉兵衛は、「いえいえ、あなた方ではお身が重

い。私一人でまいます。手ぶらで物を落とすためしなし。この老爺独りで行きます」

と言って、独りで座敷へ行きました。仙林は、そこでもさんざん悪口を重ねましたが、吉兵衛は黙ってそれを聞き、話し終えたのを見て、

「もうそれで言うことはございませんか。ではサヨナラ、お暇いたします」と言って退出しました。

日を経て、吉兵衛は再び元立寺に行き、住職に仙林の一件について知っているか尋ねたところ、知らないといいました。すると、吉兵衛は、

「お客様を招待しておいて、何故傍らにござらぬか。この老爺は何と言われてもかまわぬが、同行にそのようなものがあることになっては恥ではないか」と一喝したといひます。

《第二十六回 七歩の意味》

お釈迦様は生まれてから七歩歩き、「天上天下唯我独尊」といわれたのは有名な伝承です。では、その七歩の歩みは何を意味するのでしょうか。私は、「から六歩は六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天）での歩み、七歩目はそれを超え

お寺とともに

ごどもかい



先日、およそ二十年ぶりに月に一度の子供会が復活しました。

集まってくれた子供たちは六名と小さな船出でしたが、急がず、慌てず、子供たちの輪が広がっていくことを願っています。

その昔、今の住職が若院だった頃、子供会に来てくれた子供たちは、もう立派な大人で、結婚し親となった子もいます。当時は自分自身も子育ての真っ最中で、必死だったことばかりが思い出されます。それが、グルッと一周して今度は子供だった若院が子供たちを迎える立場になると想像もしていませんでした。

今回若院の子供会に来てくれたかわいい子供たちから元気とパワーをもらいました。自身、孫がいてもおかしくない年齢にさしかかり、子供を見るまなざしにも変化があるような気がします。気持ちをおさらたに、子供たちとのご縁を育んでいきたいと思ひます。



前任職三回忌を厳修

護寺会の総力をあげて法要の準備

さる五月十七日、前任職が亡くなって丁度二年となる祥月命日に、前任職の三回忌法要を親戚法中、親戚、御門徒の皆様とともにお勤めをしました。

葬儀、一周忌とコロナ禍となった、前任職の法要ですが、三回忌は、ウイズコロナの方針のもと、できるだけ沢山の御門徒の皆様と法要を迎えるように、境内に大きなテントを張り、イス席を増設して迎えました。

当日は、まず隨嚴寺住職・安藤誠也氏をより御法話をいただき、その後、読経の中で本堂にて参詣者の皆様に焼香をしていただきました。親戚、法中、役員合わせて約七十名。一般参詣者も七十名ほど。役員の皆

さんは、朝早くから参詣者を迎える準備をしました。お勝手会の皆様にも応援をいただき、法中の接待などに大活躍をしていただきました。参詣者は、本堂にディスプレイをもつて配置されたイス席では入りきらず、準備された境内のイス席が役に立ちました。これだけ多くの方が、前任職の三回忌を大切に感じて下さることをみるにつけ、前任職の遺徳を感ぜずにはいられませんでした。



法話をする安藤先生



案内をする役員



境内の受付



本堂での焼香

前任職三回忌点描

アフターコロナ 新企画次々船出

昨年一年間、教化検討委員会にて検討された、アフターコロナでの取り組み。その中で、今年五月から、本格的に始動。和気あいあいのスタート。



ホームニュース掲載の寺カフェの写真



順慶寺に集まった子供たちに話す若院

5月度護寺会物故者

興楽院釋輝映

5月9日寂 木谷輝伸(81)

刈谷市 武本雅行様の義父

釋靜観

5月19日寂 酒井昭夫(96)

高畑組 酒井寿人様の父

即生院釋良稔

5月12日寂 稲垣 稔(87)

下高根 石川満儀様の義父

釋尼久清

5月23日寂 鈴木久子(91)

名古屋市 鈴木博様の母

妙実院釋尼澄江

5月18日寂 池田ゆき江(97)

山ノ端組 池田正己様の母

5名の順慶寺護寺会員の
方が生前の役割を終えら
れ、浄土におかえりにな
られました。合掌

編集部短信

◆ハクビシン対策終了ー4月に書院廊下の天井に確認されたハクビシン。業者による対策により、現場からの退散が確認された。現在、様子を見ながら、ハクビシンが侵入したとみられる進入路を塞ぐ作業を進めている。

◆寺カフェ、ホームニュースに掲載ー4月29日にプレオープンした寺カフェに、刈谷ホームニュース社から取材を受け、同社記事に掲載された。写真は、「ホットひといき」に掲載。◆太陽光パネル設置完了ー5月26日、庫裏屋根に太陽光パネルが設置された。太陽光パネルは、本年2月の総代会にて設置が了承されていたものだが、設置は新年度となった。

編集雑記

五月、前任職の三回忌をお勤めしました。法要が始まる前に招待したお寺様に「今回御門徒が来て頂ける法事にしましたが三回忌を区切りとしたい」との話をすると、「前任上人の法要は住職が勤めるものではない。御門徒が心待ちにして迎えるもの」とお叱りを受けました。法要を勤めることだけではないだった自分にきつい叱咤でした。(住)

五月からついに子ども会が始まりました。右も左もわからない状態でのスタートですが、子ども達も来てくれて一安心でした。子ども会はずいぶん学びの場ではありますが、同時に私自身も学べる場でありたいと思います。(若)



6月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	水	寺カフェ(9:00~12:00、順慶寺本堂南落間にて)	
2	木		木-1
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		木-2
10	金		
11	土	助音講(19:00、順慶寺本堂)	
12	日		
13	月		
14	火		
15	水	21組同朋教室(13:30、築地町・誓願寺)	

16	木		木-3
17	金		
18	土	順慶寺こどもかい(9:00、順慶寺本堂) 真宗講座(19:00、順慶寺本堂)	
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		木-4
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	水		
30	木		

6月行事内容 詳細

二十一組同朋教室(第二回)

6月15日(水)

午後1時半〜 築地町誓願寺

講師 戸松憲仁氏

岡崎教区二十一組の同朋教室の二回目が、岡崎市福万寺住職・戸松憲仁先生を迎えて開催されます。先生は、「令和の時代に聞く仏法」と銘打って、時代は変わるけれども、変わらない仏法を分かりやすくお話されます。

今回聴講をご希望される方で、まだ申込をされていない方は、参加費(一千元)を添えて順慶寺まで申込ください。

「寺カフェ」

★毎月1日 オープン

午前9~12時

★順慶寺:南落間とその周辺

★コーヒー、紅茶、ジュース (寺カフェ実行委員会)
(コーヒー・紅茶200円、ジュース100円)



(岡川経康氏提供)

おしらせ

●夏期講座を一般向けに開催

例年、7月7日に富士松真宗教団主催で著名な先生を迎えて開催されている夏期講座ですが、二年間のコロナ自粛を経て、今年から公開の講座となりました。二年前までのように地域同行の方の申込を受け付けるのではなく、一般の方が自由に講座を聴聞できるようにします。とくに本年(7月7日)今川町乗蓮寺にて開催)は、参加費

●順慶寺こどもかい募集中

5月21日より始まった、順慶寺こども会ですが、若院の工夫もあってわきあいあいの雰囲気だったと感想があがっています。これからも楽しい会にしていく予定です。参加希望の子さん(父兄もよい)は、第三土曜の午前9時に順慶寺へ。

じゅんこのときめき歳時記

つめず

みなさん、6月になるといよいよ梅雨入りになりますね。

梅雨になると、ジメジメして寝苦しい日が続きますし、カビや雑菌が繁殖して体調を悪くしやすいですね。そんなときに、役にたつのが、丁度収穫を迎える梅。梅は、昔から「食べものの毒・血液の毒・水の毒」を断つとする健康食といわれ、クエン酸を多く含む梅干しは、疲労回復や血流をよくする効果があるので、梅雨にはもってこいです。

ところで、梅干しを作るときにできる梅酢をご存知でしょうか。梅を塩漬けにすると出てくるものです

が、食欲増進・消化促進、殺菌効果、老化防止などの効果があるそうです。そういえば、真鍮の仏具なども梅酢を使って磨くとピカピカになると、お父さんが言っていました。

干梅の

温みを褒に納めけり

小松誠一

